

## 第2回『認知症アップデート研修』アンケート結果

参加総数：60名

アンケート提出 59名(回収率:98.3%)

### 1. 属性について

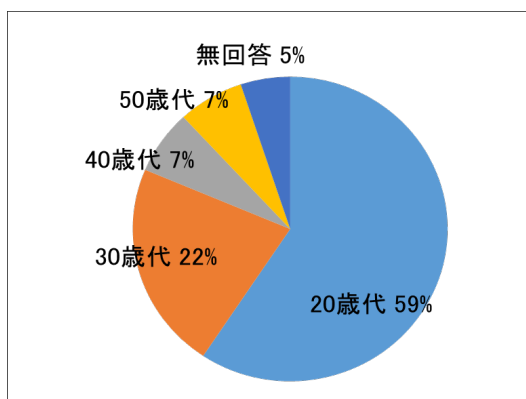
所属県士会	宮崎県士会	57
	無回答	2

性別	男性	24
	女性	35

認定OTの資格	有り	2
---------	----	---

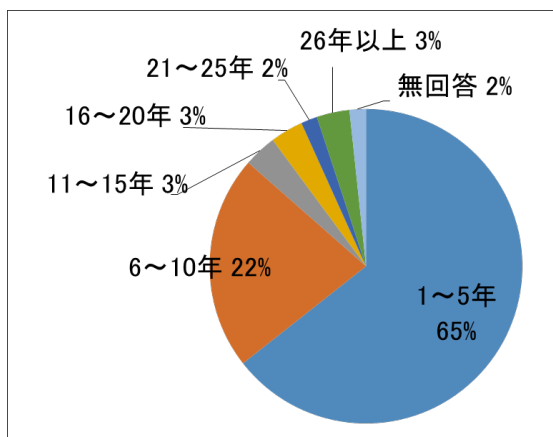
### 年齢:

	人数
20歳代	35
30歳代	13
40歳代	4
50歳代	4
無回答	3



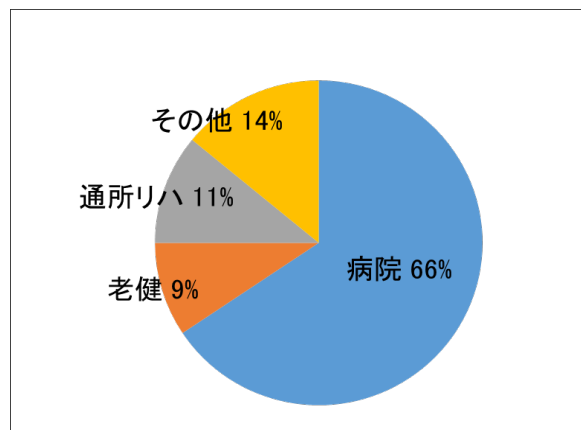
### 経験年数:

	人数
1～5年	38
6～10年	13
11～15年	2
16～20年	2
21～25年	1
26年以上	2
無回答	1



### 施設区分(重複回答あり):

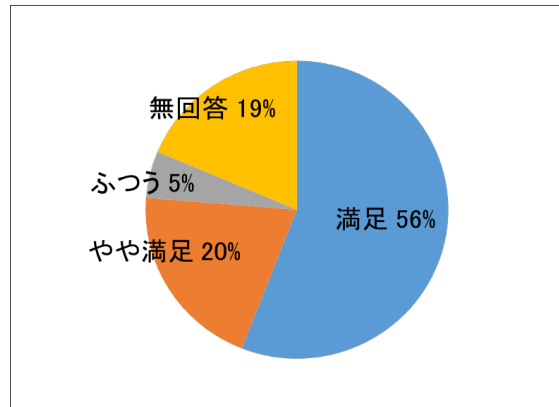
	人数		人数
病院	4	軽費老人ホーム	1
病院(急性期)	10	老健	6
病院(回復期)	24	特養	1
病院(維持期)	4	通所介護	1
外来リハ	1	通所リハ	7
重度認知症デイケア	1	居宅介護支援	1
精神科デイケア	2	教育	1



## 2. 研修について

### 1) 今回の研修内容について

	人数
満足	33
やや満足	12
ふつう	3
無回答	9



### 2) アップデート研修に関する感想やご意見 ※原文のまま

- ・ 認知症の人、その家族、その周りの人々、社会的関わりなどを含めて、今回の研修会の内容はいずれも非常に大切な要素であったと感じた。このような複雑系において、特に基本的な内容の重要性、包括的な視点の大切さを改めて学びを得られた。本当にありがとうございました。
- ・ BPSD に対する具体的対応方法の例などを集めた研修会に参加したいです。認知症の有る方の気持ちが分かる日記に感動しました。
- ・ 小川先生のお話で、改めて超高齢者社会へと日本が進んでいる現状と OT に期待されていることを再認識できました。小川先生が行っている企業での地域との関わり方を具体的に話を聞いてみたいと思いました。
- ・ 60 分という講義時間は大変集中しやすい時間でした。診断基準・評価等、最新のトピックスの入った内容で、興味深く聞かせていただきました。
- ・ 今回研修を受け、改めて基礎から見直しをしないといけないと感じる程、知識が不足しているのに気付かされました。認知症本人の日記、混乱等気持ちを知ることができ、参考になりました。
- ・ 時間的に詰め込み過ぎな印象があります。内容的に濃いものなのでもう少し時間をかけて聴きたかった。
- ・ BPSD に対する認識が変わった。様々な要因が絡んでいるとわかり環境へのアプローチの大切さがわかった。実例や対処法等具体的な内容があり、わかりやすかった。
- ・ 現在の認知症のことがわかって良かった。学校で学んだ時から大分変わっていると感じた。
- ・ 最新の情報や具体的例が聞けたことが良かったです。ありがとうございました。
- ・ 認知症患者様の心理面について知ることができた点が良かったです。
- ・ 基礎的な復習から、介入方法まで認知症について広く学ぶことができました。
- ・ 認知症の基礎知識を改めて見直しことができました。認知症の患者さんを「病気の人」ととらえるのではなく、その人の生活史や考え方に注目して介入していくことが重要であると感じました。また、患者さんのご家族に対しても、適切な助言を行っていくことが大切だと思いました。今後患者さんそれぞれに合う支援方法を考えていきたいです。
- ・ 定期的に知識を更新することは必須であると思うので、こういう機会をもうけて頂けると非常にありがたいと思います。最近急性期病院においても超高齢者のリハビリの機会が増えており、疾患に対するリハというより認知症のリハになっている状況です。OT 向けの研修も大事ですが、他職種、家族へも今回の研修をきっかけに広く伝えていけたらと思います。道本先生のお話とても参考になりました。
- ・ 非常にためになる内容ばかりでした。
- ・ 急性期の病院で、認知症が既往にある患者様が多く、今回の様な研修があり、復習も兼ねて参加しました。DSM-5 で改正された事や、基礎的知識等、再認識させて頂く事ができました。
- ・ 基本的な所から今後の作業療法に活かされるような内容でとても勉強になりました。
- ・ 対応・基本的なことの復習・実践を知ることができました。

- ・ 認知症の診断のある方とも関わる機会がありますが、原疾患など深く考えて対応できていなかったのが明日から考えるきっかけになりました。
- ・ 認知症という固定概念がとれ、考え直す、見つめ直す機会となった。基礎的な知識から地域での取り組みなど学べて良かった。
- ・ 認知症の方の気持ちを実際に知ることができる機会は少ないため、良い機会になりました！ありがとうございました。
- ・ 今の日本の状態から、認知症の症状、対応方法まで学ぶことができ、とても良かった。どのようにOTとして関わっていくべきなのか考えさせられた。知識不足である部分がわかり、臨床に活かせると思った。
- ・ 認知症に関しての知識を再確認する事で、これまでの自分の介入の方法に対する見落とし等を見直す事ができた。また中には自分の知らなかった内容も多く、これからのリハの中に取り入れていきたいと思った。
- ・ とても分かりやすく理解できました。
- ・ 認知症に対する知識を増やすことができ、現在受け持ちしている利用者様にある程度状態像を当てはめながら、いろいろな評価方法を実施しようと思いました。作業療法士の強みをどんどん増やしていきたいと感じました。「人となり=Narrative」を念頭に置き関わりたいと感じました。
- ・ 認知症についてのケアの仕方、リハビリの中でも対応難しく感じる事がほぼ毎日あります。自分の対応の仕方について反省するばかりです。正しい知識・考え方を学んだ上で明日からの臨床にいかせるよう努力したいと思います。どの講義も分かりやすかったです。
- ・ 知識の再確認や新しい知識の学びの時間となりました。ありがとうございました。
- ・ 認知症の特徴や対応の仕方等、分かりやすく講義して頂き、今後の臨床に活かしていきたいです。認知症について再認識することができました。今回の講義内容を職場で共有し、統一したケアを目指していきたい。
- ・ 認知症に対する新たな診断基準や考え方、対応など勉強となる内容が多く、今後の臨床に役立てるとともに多職へも広く伝達して行きたいと思います。一方で抽象的な部分も多々あり、具体的な表現を用いて頂きたかった講話もありました。「日記」・・・考えさせられました。
- ・ 認知症に対する広い理解ができた。臨床場面に活かしていける内容だった。
- ・ 4 講義で時間もちょうど良かったです。最新の情報や認知症の原因・背景など、学生時代に勉強したこととは変わっていたりして勉強になりました。急性期病院なので記憶の評価に偏りがちですが、行動面も評価していきたいです。
- ・ 認知症とはどんなものをいうのか？BPSD とは何か？といった、基本知識から勉強でき、今まで忘れてしまっていた知識を再確認することができました。その上で OT がどのように介入していくべきかを学ぶことができました。“家族が変わると患者も変わる”という言葉が印象的でした。患者様はもちろんですが、ご家族のストレスも高いという事を改めて感じさせられ、ご家族に対するサポート(環境整備)がどれほど大切か感じさせられました。自分は急性期病院に所属していますが、急性期でも、ご家族の気持ちに寄りそう事を、忘れてはいけないと感じました。評価バッテリーなどもたくさん知る事ができたので、自分でも調べてみたいと思います。
- ・ 臨床での場面と合わせて説明して頂けたのが分かりやすかったです。教科書などで読んだり聞いたことがあることでも、自分が違う解釈をしてしまっていることも多いと思うことや臨床で気づけないのでよかったです。もっと、もう一度認知症について勉強しなければと感じたので、今回の資料を読み直そうと感じました。
- ・ 認知症について、基礎的な知識からアセスメントまで全般的に再確認できたので良かったです。
- ・ 認知症について、要点ごとに各先生方にお話して頂けてとても理解しやすかったです。
- ・ 基礎的な知識の復習となり良かった。また最先端な知識(日本だけではなく外国の取り組み・事例など)を知りたかった。
- ・ 認知症の方の見方やアプローチ法の再確認できました。
- ・ 各項目が1時間でまとめられており、集中して聴く事ができた。項目の順も理解に沿った内容であった。

- ・ 認知症について、基本的な概念から現状に至るまで、改めて知識・理解を深めることができました。
- ・ 教科書的な部分もPOINTで必要ですが、具体的な所のお話にも、もう少し時間を割いていただきたいところで
- ・ 認知症への知識・理解を改めてできました。今後認知症に対してのアプローチ・家族指導できるようにしたいと思いました。
- ・ 室内が寒くてかぜをひきそうです。担当患者に認知症の方がいるのでしっかりアセスメントして介入したい。
- ・ 大変勉強になりよかったです。ありがとうございました。
- ・ 講義によって、別紙やテーマのまとめがあつて分かりやすかった。また、別紙にしてもらえたことで次に見る時に活用しやすいと感じました。
- ・ 認知症に関する基本的な知識だけではなく、実際に行っている活動(地域、行政をまじえた)を知る事ができとても勉強になりました。地域で生活している認知症の方やその家族の方への支援や助言を、的確に行える様今回学んだ事を活かしていきたいです。
- ・ 2回に分けて実施して頂いたので今回参加することができました。認知症といっても学ぶことは多岐にわたると思いますが、最近の知見を教えて頂き良い振り返りの機会となりました。
- ・ 家族指導の大切さを学びました。
- ・ 認知症に対しての再認識させて頂くことが多くあり、自分が現在実施している作業療法が全然足りないものだと確認することが出来ました。学ばせて頂いたことを御利用者様にフィードバックしていきたいと思ひます。
- ・ 特にありません、いつも勉強になります。ありがとうございます。道本先生のお母さんの手紙がとても感動しました。
- ・ 認知症患者に対しての接し方を考える良い機会となりました。今回学んだ事を、訓練に活かしていきたいと思ひます。
- ・ 認知症について、新たな知識を得ることと今まで学んだことの復習を併せて行うことができました。私自身、祖母が2人とも認知症を患っているため、臨床だけでなく、自分の家族に対しても色々な場面で学んだ知識を活かしていきたいと思ひます。
- ・ 知識のアップデートができたと思ひます。明日より臨床で、評価と個別に応じた対応に努めたいと思ひます。
- ・ 認知症の障害の本質や原因疾患への理解、作業療法士としての取り組みを再確認することができました。現在、勤務している病院で日々の臨床に活かしていきたいです。
- ・ 超高齢者社会になった今、社会から求められるような高齢者に対する支援が必要であると知り、地域や患者様家族に対してもサポートできる作業療法士を目指していかなければならないと感じました。今日、頂いた資料だけで、終わるのではなく、その他の資料を参考にまだまだ認知症に対して、知識を深めていこうと思ひます。
- ・ 今後、認知症患者様、その御家族様に関わって行く上での参考にしていきたいです。
- ・ 認知症の基礎知識をもう一度ふりかえられてよかった。認知症の人自身が何を考えているのかについて考えさせられた。

### 3) 今後希望する認知症関連の研修企画(具体的テーマ)

- ・ BPSDの具体的な介護での対応方法、作業療法的介入
- ・ 地域における認知症の方(予防も含む)のサポートや関り方、活動について現状を知ることができるような内容の研修
- ・ MTDLPと関連したテーマで実施されると興味深いと思われまふ。
- ・ 実際のBPSDの症状への対処で成功例やしてはいけないこと
- ・ 認知症の予防について、具体的にどのような動きになっているのかを教えて頂けるといいですね。自分達が

日ごろから気を付けること、早めの対策が可能であれば、準備しておけるので…。認知症になってしまっただけからでは遅いのでは？今は対象者に指導する立場かもしれませんが、明日は我が身、20代作業療法士もあと30年もすればケアされる立場になってくるのではないのでしょうか？

- ・ 症例を呈示して、急性期・回復期・生活期のリハの関わり方。
- ・ 認知症の基礎知識だけでなく、BPSD に他職種とどう情報共有しながら取り組んだか等具体例を教えてくださいと良いかと思えます。
- ・ 今後、経験年数が少ない OT がどのように民間企業や市町村とタッグを組んで高齢者が長く地域で生活維持できるのかの研修。
- ・ 小川先生の取り組みを(会社設立等の)もっと学びたい。地域の高齢者と企業との商品開発等
- ・ 障害・症状の理解は、多く学ぶ機会もありますが、環境や対処法等、実際で行われている取り組みなどを例として学ぶ機会があるといいと考えます。
- ・ 認知症に対する作業療法(アプローチ)、「DLB」「FTD」「ADD」
- ・ 具体的なアプローチと変化など、誤った介入例もあれば幸いです。ありがとうございました。
- ・ 上肢アプローチ(整形、中枢)の手技・実技
- ・ 患者様のアプローチ方法を知りたい。DVDなどで OT が関わって変化を見たいです。
- ・ 認知症患者に対するアプローチ、関わり方
- ・ うつ症状への対応、リハビリや介助者への拒否時の対応
- ・ 病院(精神科に限らず、身障病院も含め)、施設など実際の臨床現場における認知症ケアの紹介(具体的に)。実際に行っているグループ活動や、ケア内容について他病院さんから教えて頂けたらと思います。
- ・ 介護施設での認知症の入所者への生活支援について(事例、介護士・看護師への指導、等)
- ・ 食事拒否・入浴拒否の方への対応(色々な改善例を知りたい)
- ・ エビデンスを踏まえた認知症の方に対する事例報告
- ・ 今宮崎で行っていること、これから必要となる対応
- ・ パーソンセンタードケアについて(基礎や事例を踏まえて…)
- ・ 人間の心理学的思考(人間の想いや思考を知るための知識・技術について)
- ・ 具体的対応とその実際(取り組みや症例など)
- ・ 家族支援に対する具体的な方法、失敗談や成功例を知りたい。
- ・ ケアに対する他職種との連携
- ・ 認知症に対する具体的な作業療法と効果について。
- ・ 認知症予防のためのスキルについて(自助)
- ・ 総合事業でも使える認知症予防作業療法とは
- ・ 初期集中支援の事例検討と介護力を高める支援方法とは
- ・ 認知症になっても地域で今まで通り暮らせるためには、どんな地域を作っていけばよいか
- ・ 認知症キャラバンとサポーターが充実してきたが、何か地域で変わった所を紹介してほしい
- ・ なかなか難しいと思いますが、当事者又は家族の思い、リハ職への思い
- ・ 回想法について
- ・ 事例検討